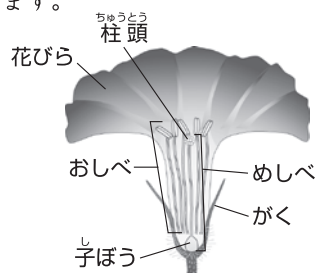


答え

- ① (1) イ・オ
 (2) ① エ ② ア ③ イ ④ ウ
 (3) A…ウ B…ア C…イ
 (4) ②
- ② (1) 子宮
 (2) ② たいばん ③ ヘそのお
 (3) 羊水
 (4) ウ・エ
 (5) イ

考え方

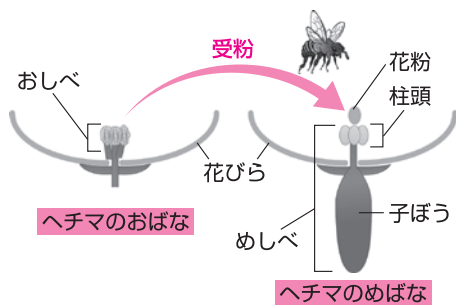
- ① (1) インゲンマメの発芽には、水、空気、適当な温度が必要です。インゲンマメがよく成長するためには、それらに加えて、日光と肥料が必要です。
- (2) アサガオの花は次の図のようなつくりをしています。



めしべの先のふくらんでいる部分は柱頭で、根元のふくらんでいる部分が子ぼうです。

- (3) 柱頭に花粉がつくことを受粉といいますが、受粉すると、子ぼうが成長します。

ヘチマの受粉は次のように行われます。



虫がおぼなでみつをすうと、からだに花粉

- がつき、その虫が花粉をつけたまま、めばなに行ってみつをすうと、柱頭に花粉がつきます。
- (4) アサガオはめばなどおぼなに分かれておらず、めしべもおしべも1つの花の中にあります。

アサガオもヘチマも、子ぼうが成長して実になるためには、受粉しなければならないんだね。



- ② (1) 男性のからだにある精巣でできた精子と女性のからだにある卵巣でできた卵が結びついて受精卵になります。受精卵は女性の子宮の中で育ちます。
- (2) たいばんでは、母親からの養分と、子どもからのいらなくなったものなどの交換が行われます。ヘそのおは、母親と子宮の中の子どもをつないでいます。ヘそのおの中には血管が通っており、養分などの通り道になっています。
- (3) 子宮の中の子どもは、羊水の中でういた状態で育ちます。
- (4) ア…子どもは、ヘそのおとたいばんを通して、母親から養分をとり入れています。
 イ…人の子どもは、受精後約4週間で心臓が動いて血液が流れ始め、受精後約38週間で生まれます。
 ウ…受精卵は、最初は約0.1～0.2mmくらいの大きさですが、生まれるときにはおよそ数千倍にまで成長しています。
 エ…人の子どもは、生まれてすぐにこきゅうをするようになります。
- (5) ア…人の親は生まれた子どもにちちをあたえますが、メダカはたまごからかえった子どもの世話をすることはありません。
 イ…人もメダカも受精しないと卵が成長を始めません。
 ウ…人の子どもは母親のからだの中で育ってから生まれますが、メダカはたまごで生まれます。

